



第20回 木村奈保子の 音のまにまに

本号Pick Upでも紹介した、11月公開の映画「オケ老人」。ひょんなことから老人ばかりのオーケストラに入団することになったヒロインを女優の杏さんが演じ、ベテラン俳優陣扮する団員たちに振り回されながらも、成長していく姿を描いた本作。ストーリーも音楽も、存分に味わって楽しみたいエンタテインメント作品である。

「オケ老人」日本映画 ファントム・フィルム配給

タイトルだけでくすっと笑ってしまう——本作はそんなイメージどおりのほっこり、やさしい、でも一筋縄ではいかないヒューマンコメディだ。

つつい洋画につられがちな日々に、日本映画でも、味わい深い昭和を背負うコメディ役者の顔が揃うとなると、見逃せない。

山田洋二作品でお馴染みの笹野高史、ギャグから名作「楢山節考」まで幅広い左とん平、淀川長治先生のモノマネでも知られる小松政夫、市川昆ファミリーの俳優となった石倉三郎など、いずれも笑いのプロであり、俳優としての存在感を持つ名優たち。

本作では、まず彼らの演技以上に、年期の入った芸から生まれる笑いに深みがあるのである。

物語は、高校教師のヒロインが、地元の勢いのいいオケに感動し、入団希望を出したのだが、誤って、別のへたっぴな老人ばかりの楽団に顔を出してしまうところから始まる。

練習とは名ばかりの、だらだらした居酒屋状態の“オケ老人”たちにヒロインは、どう対応するのか？ 自分の演奏を向上させたかったはずのヒロインがいかにも、どうしようもないオケ老人たちと関わりを持っていくのか？ 優秀な楽団と最良の音楽に挑もうとしたヒロインに、どんな運命が待っているのか——？

オケ老人に巻き込まれていくヒロインの女教師を、女優・杏が実にさわやかに演じる。

世界の渡辺謙の娘としてもおなじみ、ファッションモデル、女優として活躍する杏は、これが映画初主演。ヴァイオリンの演奏も初体験ながら、練習を重ねて体当たりで臨んだ。

なにせ、達者な役者たち演じるオケ老人たちを率いていく立場になるのだから、若い、可愛いだけでは済まされない。短期間の練習には、桁はずれの集中力が求められる。

杏の若さと、老いた芸達者たちが奏でる演技と音の協奏曲。あなたのハートには何が残るでしょうか？

ドラマのポイントとなるのは、フランスの有名な指揮者が現れるところ。彼は、カセットテープレコーダーに幼き思い出を保存し、杓子定規な教育とは異なる観念を持っている。それに気づくのは、オケ老人の一人である。

高齢化時代に、老人と音楽と若者を見事にマッチングさせた荒木源原作の映画化。愛と音楽こそ、成長戦略といえそうな気がする。

※映画「オケ老人」の詳細情報を、P10～11にも掲載しています。ぜひご覧ください。



NAHOK INFORMATION www.nahok.com

Fabric from
Germany,
Made in Japan



①



②

フルートリュックII「Hummingbird/wf」

NAHOK リュック、NEWカラーが個性たっぷりに登場！C管、H管どちらの楽器でもNAHOKケースにいれたまま、譜面台やA4譜面ファイルなどもすべて収納できます。

- ①トリコロール (ホワイト/ライトブルー・レッド)
- ②トリプル (アイボリー/グレー・ブラウン)

www.nahok.comにて、ぜひ実際のカラーをご覧ください！